

# 暫定利用事業のまとめ①

## ■ うめきた2期まちづくりのプロモーション

- 緑や花をテーマにした取り組み
- スポーツなどをテーマにした体験型の取り組み
- 防災の取り組み
- 音楽と大阪の食文化を表現する取り組み
- 最新技術の実証フィールドとしての取り組み など

○ 3年間で**延べ39事業者**が事業を実施  
**延べ約86万人**が来場



うめきたガーデン



ちりりん大阪



OSAKA LOVE FESTIVAL



うめきたガーデンフォトコンテスト（市長賞）

## ■ 周辺への賑わいの創出

- 地域活動との連携、地域への賑わい創出
- 暫定利用事業者間の連携
- 先行開発区域との連携 など



内覧会では市長とともに、グリーンサポーターが花壇へ植栽を実施



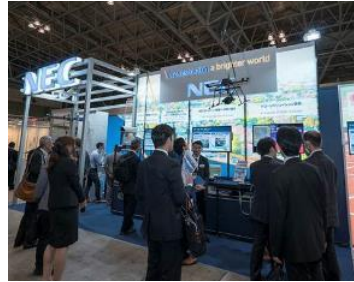
暫定区域とうめきた広場双方の活用

# 暫定利用事業のまとめ②

## ■ 防災意識の普及啓発

- 防災パーゴラの設置
- 災害時のドローン活用に関するイベントの実施
- 府警・消防署と連携した総合防火訓練の実施
- 大阪北部地震（平成30年6月）における  
帰宅困難者対応の実施

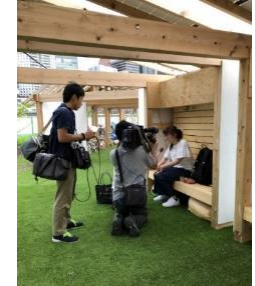
など



ドローンイベント



象による防火訓練  
(グリーンプロジェクト)



無料充電コーナー  
(防災パーゴラ内)

## ■ 新たな環境技術の実用化に向けた実証実験の実施

- 帯水層蓄熱利用技術の実証実験の実施

産官学で連携し、地盤沈下等の周辺への影響や省エネルギー効果について、約2年にわたる実証実験を実施  
(環境省CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業の採択)

国家戦略特区において、建築物用地下水の採取に係る特例の区域計画の認定（令和元年度9月30日）

市民、事業者、行政等各種団体が連携して進めるまちづくりに向けた実践事例として、暫定利用事業の取り組みを共有し、「『みどり』と『イノベーション』の融合拠点」を目標とするうめきた2期のまちづくりに繋げていく。